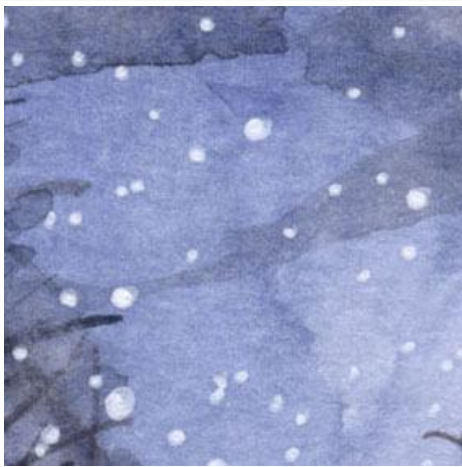


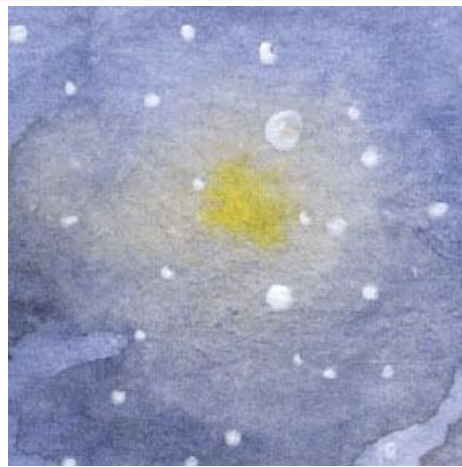
どこかで見た風景ですが どこだったか忘れまして 地名は忘れても風景はよく覚えています 右側の雪の中に 納屋のような小屋がありました 雪が降っているのに 雲の向こうに太陽がぼーっと見えていた気がします その太陽の薄い日差しに かえって寒々とした印象を持ちました



これが完成した絵です



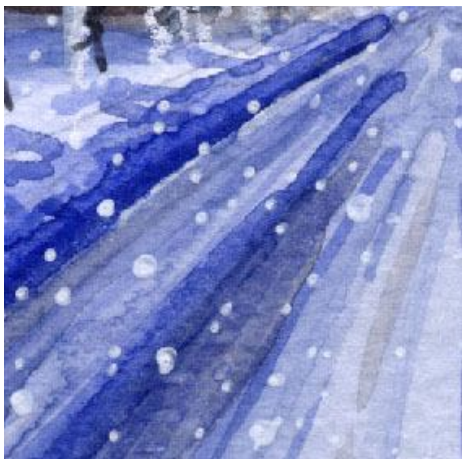
1、雪粒は 白の不透明ペン(サクラ「デコレゼ」)を使います これは非常に役立つペンです



2、薄日の太陽は できるだけぼーっと描きます これでも少し色が濃かったです



3、主題の白樺は まず白のパステルで描き起こし その上にグレーの絵の具を塗ります 乾いたら樹皮の模様をつけます



4、凍結した路面が一番難しいです「わだち」は思い切り暗くしたほうが良いようです



5、並木は「線遠近法」で描きます「収束点」は並木の一番奥です 白樺の枝は 収束点に近いほど濃く見えます



6、右手の納屋は 白樺よりも先に描いて ほぼ完成させておきます